

---

---

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について  
(アップデート)



**岩井コスモホールディングス**

**IwaiCosmo Holdings, Inc.** (証券コード：8707)

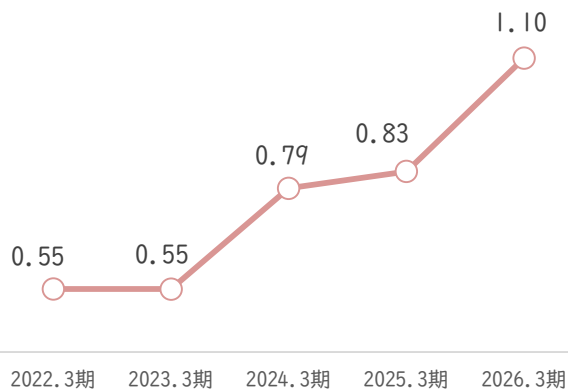
2026年6月

---

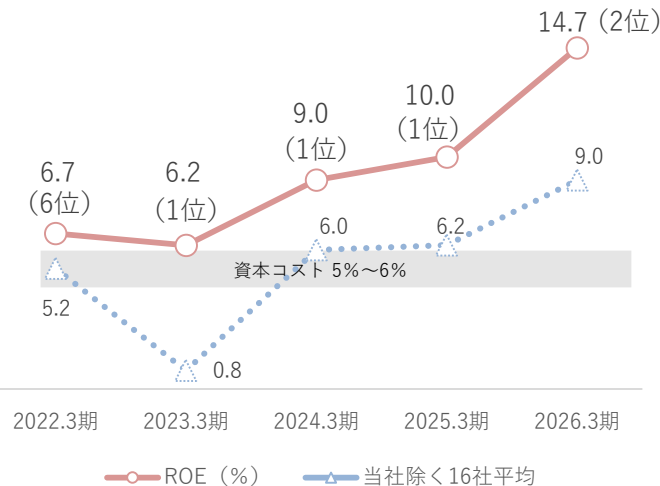
- 2026年3月期の営業収益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は**過去最高**
- 2026年3月期のROEは14.7%となり、業界平均（当社除く16社平均）9.0%、当社の株主資本コスト（5%~6%）を上回る
- 株価は堅調に推移し、PBRは1.1倍（2026年3月末）

	2022.3期	2023.3期	2024.3期	2025.3期	2026.3期
営業収益（百万円）	20,708	19,691	24,040	25,750	32,260
経常利益（百万円）	5,799	5,165	8,003	9,150	13,550
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	3,756	3,564	5,554	6,725	10,443
1株当たり当期純利益（円）	159.93	151.73	236.49	286.34	444.61
1株当たり純資産（円）	2,405.25	2,450.40	2,824.53	2,882.29	3,163.05
PBR（倍）＜株価純資産倍率＞	0.55	0.55	0.79	0.83	1.10
ROE（%）＜自己資本利益率＞	6.7	6.2	9.0	10.0	14.7
PER（倍）＜株価収益率＞	8.3	8.8	9.5	8.4	7.8
期末株価（円）	1,332	1,340	2,241	2,406	3,470

## PBR



## ROE



## 株価



- 第6次中期経営計画に掲げる各施策に取り組み、さらなる「収益性」の向上および「資本効率」の改善を図り、PBRの持続的な上昇を目指す

## PBRの向上

(株価純資産倍率)

## ROEの向上

(自己資本利益率)

### 第6次中期経営計画 (2026.3期~2028.3期)

([https://www.iwaicosmo-hd.jp/ir/pdf/midplan\\_202603\\_202803.pdf](https://www.iwaicosmo-hd.jp/ir/pdf/midplan_202603_202803.pdf))

#### 収益性改善

- ・お客様の運用目的や市況に応じた提案営業
- ・米国株式の残高拡大 (2026.3末: 前期比+60.2%)
- ・IT技術を活用し「進化した対面営業」の推進
- ・生成AI機能などを備えたグループウェアの導入による生産性向上、業務効率化
- ・適切なコスト管理と見直し

#### 資本効率改善

- ・株主還元の充実  
⇒ 2026年3月期: 1株当たり年間配当金 (225円) は過去最高
- ・余剰資産の売却による資本効率の適正化  
⇒ 投資有価証券の売却 (2026年3月期: 1,375百万円) など
- ・余剰現金の有効活用  
⇒ 信用取引貸付金の増加 (2026.3末: 623億円、前期比+22.4%) など

#### 成長期待・非財務施策

- ・年2回の機関投資家との対話の充実
- ・本決算時は、オンライン決算説明会を開催
- ・サステナビリティ、人的資本投資 (5年連続となるベースアップの実施など) への取り組み
- ・機関投資家との対話の社内フィードバック強化
- ・積極的なIRの実施

安定的な配当の継続を重視したうえで、業績に応じた利益の還元を実施

純資産配当率 (DOE)

総還元性向

3%程度

or

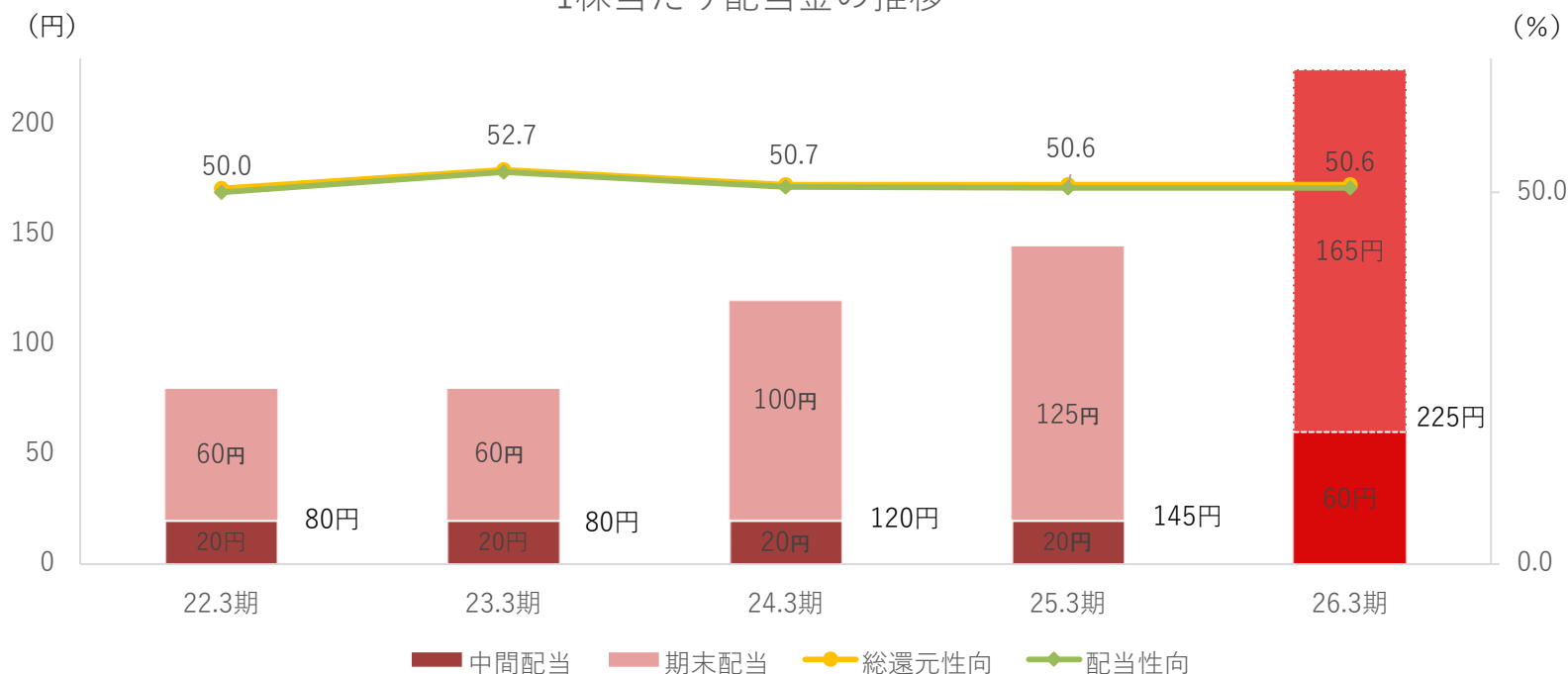
50%以上

いずれか高い方

(中間配当：DOE2%程度、期末配当：DOE1%程度 + 業績連動配当)

■ 2026年3月期の年間配当は、**過去最高**となる225円 (前期比 + 80円)

1株当たり配当金の推移





# 岩井コスモホールディングス IwaiCosmo Holdings,Inc.

本資料に記載されている情報は、作成時点のものであり、将来の業績や見通しを保証するものではありません。  
また、今後予告なしに変更されることがあります。  
本資料で使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等につきましては、その責を負いかねますのでご了承ください。  
なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複写・複製、または転送等を行わないようお願い致します。